



月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.1.18 No. 3335

91.3.31 ダイ改にっついて 緊急申し入れ

不誠実団交を許すな!

すでに本紙上で明らかにした通り、「91・3ダイ改」について、JR東日本千葉支社は、今日段階に至ってもなお、具体的労働条件を提案しないという、極めて異常な事態になっている。

「動労千葉申第6号」に関する団体交渉で、千葉支社当局は、労働組合が真剣な解明要求をしたことに対し「ノーコメント」などという、全くふざけた対応に出てきた。これはまさに不誠実団交である。

団交の場で嚴重に抗議するとともに、一月一日に労働省、中労委へ労働法三七条に基づくスト通知と記者発表を行い、一月一四日千葉支社長に対し、「動労千葉申第七号」を發出し、強く抗議するとともに、問題点の解明を要求した。

JR東日本千葉支社は、この間団体交渉に形式的には応じるが、全く不誠実な対応に終始するといふ許し難い団交の形骸化をエスカレーションしてきている。

そして、一方でJR総連・革マルを先兵とした組織破壊攻撃に出てきているのだ。「91・3ダイ改」を利用した組織破壊攻撃を粉碎しよう!

ダイ改を利用した組織破壊攻撃粉碎!

「91・3ダイ改」に関する不誠実団交に対する緊急申し入れ

動労千葉は、この間、JR東日本千葉支社に対して、「91・3ダイ改」に関する労働条件と懸案諸要求の解決について、再三にわたり団体交渉による誠意ある解決を求めてきたところである。

然るに、千葉支社が、一貫して、団体交渉を形骸化し、団体交渉で確認した労働条件を勝手に変更し、3月16日にダイ改実施であるとしながら1年半ばの今日に至るも労働条件の提案を行わず、さらには、一部職制がJR総連・革マルと結託し業務移管などのデマを流し、職場・生産点に不安感を醸成し、もって組織破壊の具とするなどしていることに対し、重大な決意をもって、強く抗議するものである。

1月10日開催された「動労千葉申第6号」に関する団体交渉に踏まえて、次の通り申し入れるので、至急に団体交渉を開催し、誠意をもって解決されたい。

記

1、団交の席上で、

①津田沼運転区で車掌業務のための設備工事が行われていることに対して、「何のための工事か。車掌区と統合して運輸区とするのか」と質したこと、

②および、「労働条件は精査中であり1月中旬に提案する」と回答されたことに対し、一部JR東労組役員が「『91・3ダイ改』の獲得目標は総武快速・緩行線の全面業務移管である」、「津田沼運転区の5～7人分の仕事を東京へ業務移管する」等と職場で吹聴していることに鑑み、その具体的事例を明示し、「細部を精査中ということは、基本的考え方は決まっているということであり、業務移管をするのかどうか考え方を明らかにされたい」と質したこと、

に対し、「ノーコメント」としたことは不誠実団交と考えるがどうか。

また、基地の統廃合、業務移管等は施策の根幹をなす事項であり、労働条件の決定的要因ともなる基本的事項であり、決まっていななどと考えられないことであるにもかかわらず、12月21日の団交時に至るも提案しないことは労使間の信義にもとることであり、JR東日本千葉支社として「91・3ダイ改」を労使間で平和的に解決する考えがないと考えるがどうか。

2、「12月21日提案」以外に、「91・3ダイ改」において基地統廃合を実施するのかどうか、考え方を明らかにされたい。

3、「91・3ダイ改」において、総武快速、緩行線の乗務員仕事を東京へ業務移管するのかどうか、明らかにされたい。

4、「成田エクスプレス」に関する1月10日の団交経緯に踏まえ、各線の旅客動向などに関する資料を明示されたい。

5、その他、この間動労千葉が申し入れ等で明らかにした「91・3ダイ改」および安全問題等、懸案諸要求について、団体交渉で誠意をもって解決されたい。

以上

1、31集会へ!

故大須賀昭男さん追悼

91・3ダイ改合理化一業務移管阻止

期日 1月31日(木) 18時

場所 千葉市民会館小ホール

全力で結集しよう!